



文部省唱歌誕生秘話

～歌詞編纂の最終責任者『芳賀矢一』博士の校閲～

【芳賀 矢一 (はが・やいち)】
1867(慶応3)年～1927(昭和2)年、福井市出身、
東京帝国大学教授、国学院大学学長、国文学者。

まなびや



「のあそび」→「はるがきた」

芳賀博士は、文献を丁寧に
考証し、民族や文化を研究す
る手法で、近代的国文学の基
礎を築きました。国定教科書
調査員、編纂委員長として国
語教育の整備にも貢献しまし
た。(第13号に関連記事)

展示室Bにて
特集展示中

わり、自ら「三才女」「雪」
「鎌倉」等を作詞するなど、
唱歌の制定と普及にも尽力し
ました。

《事例一》

助詞一字に至るまでの
細かい修正例

♪春が来た

明治38年『尋常小学校読本
五』に「のあそび」が登場し
ました。曲がつけられ、明治
37年発行の『国定尋常小學校
本唱歌集』に掲載されました。

明治43年『尋常小学校読本
巻五』では、「春が来た」と
改称され、芳賀博士が作曲し
やすいように言葉の文字数に
合わせ、助詞の「も」を加え
て「野にも来た」と校閲しま
した。また、順番も「山↓野
↓さ」とから「山↓里↓野」
に入れ替え、春の到来が広が
っていく様子と、春の訪れを
待ちわびる心情の高まりが強
調されました。

《事例二》 親しみ
やすく、わかりやすい
言葉遣いを求めた例

♪かたつむり

「でんでんむしむし」は「出
て来い出て来い虫」という意

味です。子どもたちは、「で
んでん」の言葉の調子に合わ
せて「むし」を二回繰り返す
言葉遊びに親しみ、喜んで口
ずさみました。



「かたつむり」

【一番】(原詞)①でんでん
むしむしかたつむり②なにが
こわくてかくれるぞ③つのだ
せやりだせちからだせ↓(校
閲後)②おまえのあたまではど
こにある③つのだせやりだせ
あたまだせ

【二番】(原詞)①でんでん
むしむしかたつむり②いくち
がないといはれるぞ③つのだ
せやりだせちからだせ↓(校
閲後)②おまえのあたまではど
こにある③つのだせやりだせ
めだまだせ

才能光る校閲のお陰で、子
どもらしい歌詞に変わり、全
国各地で愛唱され、今も時代
を超えて歌い継がれています



※年末年始の休館日・12/25
12/29・1/3 1/9

●上映番組(各10・20分番組)
24日(日) 走れメロス
26日(火) マッチ売りの少女
27日(水) ぶんぶく茶がま
28日(木) 笠じぞう

大人には懐かしく、子ども
には初めての映像?
16ミリ映画上映会

○期日 12月24日～28日
○時間 11:00 13:30
15:00 (25日休館日)